

京舞（上演プログラムテキスト）

伝統的な日本舞踊の最も有名な形式の 1 つは、18 世紀にかけて京都で生まれた京舞^{きやうまい}です。現代では、多くの人が、芸妓^{げいこ}や舞妓^{まいこ}のパフォーマンスを見て京舞^{きやうまい}を知ります。この劇場では、京舞は通常、京都の芸妓^{げいこ}と舞妓^{まいこ}が働く五つの伝統的な歓楽街の一つである祇園^{ぎおん}甲部^{こうぶ}の舞妓^{まいこ}によって披露されます。祇園^{ぎおん}甲部^{こうぶ}では、芸妓^{げいこ}と舞妓^{まいこ}は井上流^{いのうえ}の京舞^{きやうまい}を実践しています。井上流^{いのうえ}は、能^{のう}の整然とした象徴的な動きや、京都が日本の首都であった時代に貴族や皇族に好まれた優雅で洗練された舞踊の影響を受けました。舞台上や大勢の人の前で上演されるように設計された他のタイプの舞とは異なり、京舞^{きやうまい}井上流^{いのうえ}は座敷^{ざしき}（お客様が食事や会話、舞や歌などの芸能を楽しむ小さくて畳敷きの客間）のために作られました。

今夜の公演では、2 つの京舞の舞をお送りします。一つの舞は季節によって変わり、もう一つは人気の定番で祇園小唄^{ぎおんこうた}（祇園の歌）と呼ばれる舞です。